

人々に金融教育を、金融機関に SRI 教育を

市川 誠之 (SIF-Japan 学生会 (SIF-Japan Students) 代表)

vol.46

初めまして、SIF-Japan Students の 2008 年度の代表を務めさせていただいている、市川誠之と申します。学生という立場で執筆させていただくことが恐縮ですが、どうぞ宜しくお願いします。

僕は「日本で SRI を普及させるにはどうすれば良いか」という卒業論文を書いてから、『人々にはまず金融教育をやるのが大事だ』と考えるようになりました。

僕は今まで、学校で投資等について学んだことがありません。むしろ、一般人の多くが僕のように投資について学んでいないと思います。そうした人に SRI を語ったところで、SRI をしてくれるはずもないと思うので、SRI の前にまず投資そのものの教育が必要なのだと思います。

そして、人々が投資について知り、SRI を行いたいと思った時、社会がそれに応えられるようにする必要もあると思います。昔、実験で 3 つの証券会社の窓口の店員に「大学で SRI について学び、SRI をやりたいと思ってきたのですが、どの商品を買えば良いですか？」と聞いた時、多くの店員は SRI という言葉に首をかしげていました。投資を行う現場がこのような状況では、SRI を普及させる上で問題だと感じるので、金融機関には SRI に関する教育が必要なのではないかと思います。

これらの状況を少しでも改善するために、Students も活動しています。今後、SIF-Japan だけでなく、Students の活動も注目してください。

市川 誠之 (いちかわ まさゆき)

武蔵工業大学 大学院 環境情報学研究科 環境情報学専攻 中原秀樹研究室 修士1年。

2008 年 4 月より NPO 法人 SIF-Japan、学生会 (SIF-Japan Students) の代表に。

現在、その他の活動として NPO 法人 創造支援工房フェイス Earth Ring Project で活動中。

